

# 兵庫県地域住宅等整備計画 (事後評価書)

ひょうごけん ひめじし あまがさきし あかしし にしのみやし すもとし あしやし いたみし あいおいし とよおかし かこがわし あこうし  
兵庫県、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、  
にしわきし たからづかし みきし たかさごし かわにしし おのし さんだし かさいし ささやまし やぶし たんぼし  
西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、  
みなみあわじし あさごし あわじし しろうし かとうし たつのし いながわちよう たかちよう いなみちよう はりまちよう いちかわちよう  
南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、市川町、  
ふくさきちよう かみかわちよう たいしちよう かみごおりちよう さようちよう かみちよう しんおんせんちよう  
福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町

平成30年5月

計画の名称	兵庫県地域住宅等整備計画		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	兵庫県, 姫路市, 尼崎市, 明石市, 西宮市, 洲本市, 芦屋市, 伊丹市, 相生市, 豊岡市, 加古川市, 赤穂市, 西脇市, 宝塚市, 三木市, 高砂市, 川西市, 小野市, 三田市, 加西市, 篠山市, 養父市, 丹波市, 南あわじ市, 朝来市, 淡路市, 宍粟市, 加東市, たつの市, 猪名川町, 多可町, 稲美町, 播磨町, 市川町, 福崎町, 神河町, 太子町, 上郡町, 佐用町, 香美町, 新温泉町

計画の目標	<p>1 安全・安心・快適に暮らせる住まいづくり 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、すべての県民が安全・安心・快適に暮らせる住まいづくりを進めるとともに、住宅の確保に配慮を要する者の居住の安定を図る。</p> <p>2 多様な居住ニーズを実現する住まいづくり 県民の多様な居住ニーズに合わせて、住宅を安心して選択することができるよう、環境の整備を進める。</p> <p>3 地域に愛着を持って豊かで元気に暮らせる住まいづくり 多様な地域を有する兵庫県においては、それぞれの地域で住まう県民が、地域に誇りと愛着を持って豊かで元気に暮らせる住まいづくりを進める。</p>
-------	--

計画の成果目標（定量的指標）	<p>① 住宅・住環境に対する総合評価 : 77%</p> <p>② 最低居住水準未達の世帯率 : 1.3%</p> <p>③ バリアフリー化住宅率 : 64%</p> <p>④ 新耐震基準適合率 : 97%</p> <p>⑤ 戸建て住宅の「その他」空き家率: 3.5%</p>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	
① 住宅・住環境に対する総合評価の満足率を住生活総合調査の結果より算出する。 (住宅・住環境に対する総合評価の満足率) = (「満足」又は「まあ満足」と回答した世帯数) / (総世帯数) (%)	70%	—	77%	
② 最低居住水準未達の世帯の割合を住宅・土地統計調査等の結果より算出する。 (最低居住水準未達の世帯率) = (最低居住水準未達世帯数) / (主世帯総数) (%)	3.2%	—	1.3%	
③ 高齢者の居住する住宅における一定のバリアフリー化がなされた住宅の割合を住宅土地統計調査等の結果より算出する。 (バリアフリー化住宅率) = (65歳以上の者が居住する住宅のうち一定のバリアフリー化がなされた住宅戸数) / (65歳以上の者が居住する住宅の総戸数) (%)	42%	—	64%	
④ 全住宅ストックに対する新耐震基準に適合する住宅の割合を住宅・土地統計調査等の結果より算出する。 (新耐震基準適合率) = 1 - (S56以前の住宅のうち、地震危険住宅数) / (住宅総数) (%)	82%	—	97%	
⑤ 全住宅ストックに対する有効活用がされていない(見込めない) 戸建て空き家住宅の割合を住宅・土地統計調査等より算出する。 ※世帯数を考慮した推定値3.7%から0.2%減を目標値と設定 (「その他」空き家率) = (戸建て住宅のその他住宅の戸数) / (住宅総数) (%)	2.9%	—	3.5%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	41,141百万円	A	34,509百万円	B	—	C	6,632百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.1%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	---	---	----------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	<p>兵庫県において評価を行い、計画策定主体の市町等へ意見照会を実施した上で確定</p> <p>公表の方法</p> <p>兵庫県ホームページに掲載</p>

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
A-1	住宅	一般	兵庫県、 姫路市他	直/間	県/市町	地域住宅計画に基づく事業	公営住宅等整備事業、地域優良賃貸住宅整備事業、公営住宅等ストック総合改善事業、小規模住宅地区改良事業、空き家再生等推進事業、改良住宅等改善事業、住宅地区改良事業等計画基礎調査事業、住宅新築資金等貸付助成事業、優良建築物等整備事業、公的賃貸住宅家賃低廉化事業	姫路市、 尼崎市他						34,509	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
C-1	住宅	一般	兵庫県、姫路市他	直接	県/市町	公営住宅等関連事業	建替推進事業、駐車場整備事業、E V機能アップ事業、住宅整備関連事業	姫路市、 尼崎市他							3,966	
C-2	住宅	一般	姫路市、 尼崎市他	直接	市町	改良住宅等関連事業	E V機能アップ事業、改良住宅整備関連事業	姫路市、 尼崎市他							242	
C-3	住宅	一般	兵庫県、 姫路市他	直/間	県/市町	その他住宅等関連事業	民間住宅のバリアフリー化等助成、地方定住・地域活性化を推進するための空き家の改修助成・定住促進事業、オールドニュータウンの再生促進支援、既存住宅ストックの活用支援、住宅政策を推進するための各種調査及び普及啓発、住宅相談・住情報提供等	姫路市、 尼崎市他							2,424	
小計(効果促進事業)												6,632				
合計												41,141				

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅・住環境に対する総合評価において、目標値を達成し、本計画に基づく多様な施策展開の効果が発現した。</li> <li>・その他空き家率は、目標を上回る実績となっており、空き家除却・活用・発生抑制等を組み合わせた施策展開が寄与した</li> </ul>
--------------------------------	--

II 定量的指標の達成状況	指標① (住宅・住環境 に対する総合評価)	最終目標値	77%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値を達成
		最終実績値	77%		
	指標② (最低居住水準 未達の世帯率)	最終目標値	1.3%	目標値と実績値 に差が出た要因	・単身世帯の住宅について、最低居住面積水準を下回るものの総数が増加したため。
		最終実績値	2.7%		
	指標③ (バリア フリー化住宅 率)	最終目標値	64%	目標値と実績値 に差が出た要因	・平成3年以降の住宅では目標値を概ね達成 <sup>※</sup> したが、バリアフリー化の必要性に対する認識、経済的理由等により、それ以前の住宅で目標値を下回る実績となったため。 ※H25住宅・土地統計調査
		最終実績値	46%		
	指標④ (新耐震基準適 合率)	最終目標値	97%	目標値と実績値 に差が出た要因	・戸建て住宅等では、経済的な理由等により、耐震改修工事に至らないものがあつたため。
		最終実績値	85%		
	指標⑤ (戸建て住宅の 「その他」空き 家率)	最終目標値	3.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値を達成
		最終実績値	3.4%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	—
--	---

## 3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各目標の達成に向け、次期計画(H28~32)において、引き続き取組を進めていく。</li> <li>・目標を達成できた指標についても、事業内容の見直し・ブラッシュアップを行い、適時的確な取組を行っていく。</li> </ul>
---